

## 平成 16 年度工学部・工学研究科技術部 研修会報告

研修担当代表 森田千明

主 催：工学部・工学研究科 技術部

日 時：平成 16 年 12 月 1 日（木） 9 時 40 分～16 時 40 分

場 所：VBL3階 ベンチャーホール

標記の研修会を開催した。参加者は 53 名であった。プログラムは以下のごとくである。今年度は、電子情報システム専攻 情報・通信工学分野の大熊 繁 教授から「自動車におけるエレクトロニクス」の講演をして頂き、課題研修 8 件、研鑽研修 4 件の報告・発表が行われた。

「自動車におけるエレクトロニクス」では、ガソリンエンジンと電気モーターによるハイブリッド自動車のエネルギー流れ、電気モーターの高効率化と燃料電池自動車および蓄電池の高電圧(42 V)化など、最先端技術と今後の技術課題について講演を頂いた。それは、石油資源の枯渇、地球温暖化の原因となる CO<sub>2</sub> 排出量低減などの環境問題に対応すべき技術課題を再認識する絶好の機会となった。

課題研修、研鑽研修の報告・発表においては、活発な質疑応答が行われた。また、その発表内容を本号に掲載した。これら技術・研修報告を対象にして、優秀チーム表彰の選考審査を 8 名の審査委員(菊山功嗣 教授、中村新男 教授、佐藤一雄 教授、各技術長)によって「研修のねらいと意義」、「結果」、「発表態度・方法」の観点から総合評価が厳正に行われた。その結果、「エネルギー有効利用調査」、「Xport 利用技術の習得と応用」、「商用 DB Oracle の習得と Free DB Postgre SQL との比較調査について」、「工学研究科における事故例の整理と解析」の 4 件が表彰された。その後、菊山功嗣 教授(企画・財務委員会 教育研究支援専門委員会 技術職員問題懇談会委員)より研修会の総評を頂き、今年度の研修会を終えた。

研修会の終了後、研修会場にて催した懇親会では、技術情報交換や技術部運営にかかわる種々の話題が交わされ、有意義な一時となった。

### 平成 16 年度工学部・工学研究科技術部 研修会プログラム

日 時：平成 16 年 12 月 1 日（水） 9 時 40 分

場 所：VBL3階 ベンチャーホール

- 9:20 受付開始
- 1. 9:40 開会の挨拶  
工学研究科長 澤木 宣彦 教授
- 2. 10:00 講演「自動車におけるエレクトロニクス」  
工学研究科 電子情報システム専攻 情報・通信工学分野 大熊 繁 教授

3. 課題研修報告(発表15分, 質疑応答5分) ○: 発表者
- 11:00 Xport 利用技術の習得と応用  
○澤木弘二, 増田俊雄, 栗本和也, 福森 勉, 青木延幸、熊澤正幸
- 11:20 サーバーのセキュリティ対策の検証  
○岡田佳浩, 千代谷一幸, 早川正人, 青木延幸、鬼頭良彦
- 11:40 表面分析を用いたインク識別の可能性と経時変化  
○高井章治, 安達幸男, 駒井慎一
- 12:00 【休憩】
- 13:00 遮光フィルムによる室内環境調査研究(2)  
○松浪有高, 日影達夫, 岡田嘉寿雄, 清水利文
- 13:20 ICP 測定における重金属測定のための前処理  
○布目清成, 瀬瀬明三, 田村 茂  
ICP の習得および特定排水の測定  
岡田嘉寿雄、柴田敏之、○藤谷善照, 布目清成
- 13:50 工学研究科における事故例の整理と解析  
○長嶋宏弥, 斎藤 彰, 大久保興平
- 14:10 携帯型多成分大気分析計とガスクロマトグラフィー装置の分析精度比較  
○宮嶋伸好, 近藤一元
- 14:30 【休憩】
4. 研鑽研修報告(発表10分, 質疑応答5分)
- 14:50 エネルギー有効利用調査  
○熊澤正幸
- 15:05 商用 DB Oracle の習得と Free DB Postgre SQL との比較調査について  
藤原富未治、○若松 進
- 15:20 タンパク質の低温度でのX線測定  
○日影達夫
- 15:35 集束イオンビーム装置を用いたTEM試料作製法  
○吉田幸秀
- 15:50 【休憩】
5. 16:10 審査結果の発表
6. 16:25 閉会の挨拶
7. 17:15 懇親会

---

平成 16 年度工学部・工学研究科技術部 研修・講習WG

森田千明 : 技術長  
布目清成、羽多野重信 : 前任専門技術職員  
鬼頭良彦、高木 誠、藤谷義照 : 技術班長